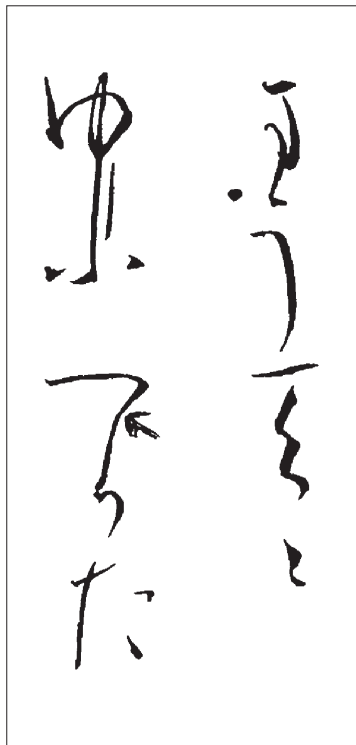


◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料430円

元永本古今集(392)



- 1、字句「万う天々ゆふつ可た」
- 2、形式「半紙をたてに使い、二行に臨書する。一行目「万う天々」二行目「ゆふつ可た」落款は左余白に本文に添うように「〇〇臨」と入れる。
- 3、概観「仮名表現の美しさの一つは、文字をつなげて書く「連綿(れんめん)」の妙にあります。元永本古今集には、二文字連綿から始まり、六〜七文字連綿の部分もあります。「連綿」とは、単に文字がつながっているのではなく、その筆運びには書き手の美意識によるさまざまな仕方があります。今回はいく種類かの連綿の基本を二回に分けて学んでいきます。
- 4、学習のポイント：連綿へその一文字連綿
 - 「万う」「万」の最終筆は力を抜かずにつくりと運び・で軽く止まり、短い横画を引いて「う」の一筆目とする連綿の仕方。「万」の三筆目から「う」の一筆目までをひと呼吸で書く。
 - 「て」単体として、直線的に書く。「ま」は「て」の繰り返し。おどろ字ともいう。
 - 「ゆふ」「ゆ」の最終筆が「ふ」の一筆目にそのままつながる連綿の仕方。「ゆ」は、ひとふで書きの文字であるが、更に「ふ」の一筆目を含めるため、「ふ」に向かうたての線は、途中でゆがみたるみのない緊張した連綿にする。
 - 「つ可」「つ」の終筆←で気持ちを入れ替えてつなげる連綿の仕方。「つ」の終筆が長過ぎるように見えるが「可」の一筆目が下方に長く引かれていことが分かる。
 - 「た」「可」の終筆を受け、軽く止まって一筆目を右上へ運ぶ。連綿線は見えないが前述の「万う」の連綿と同じ連綿で始まるとよい。

(八月二十二日締切)

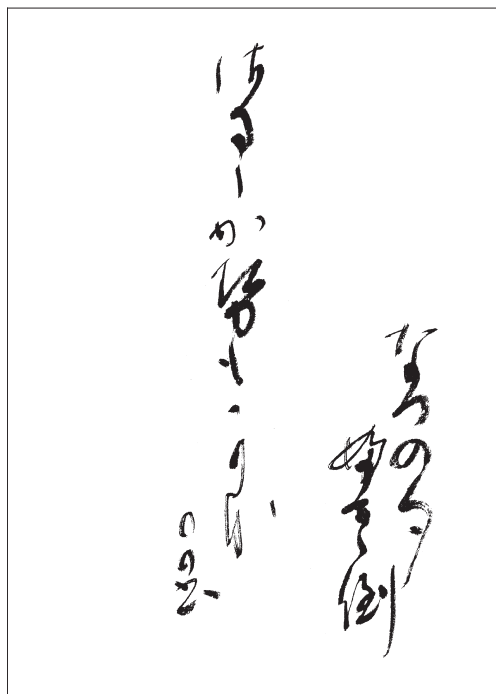
半紙課題(予告)

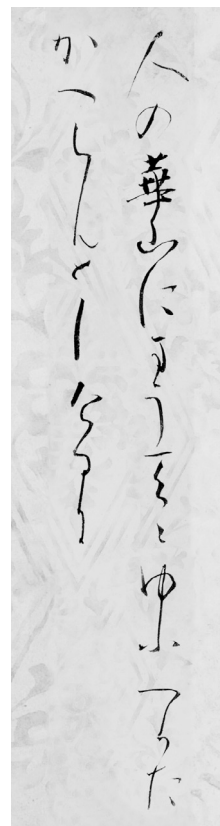
平岡華雪先生書 碁局長夏を消す(蘇軾)



訳：夏の日なが碁を打ってすこす。

平岡華雪先生書 夏の夕吹倒さるゝ風もがな(関更)





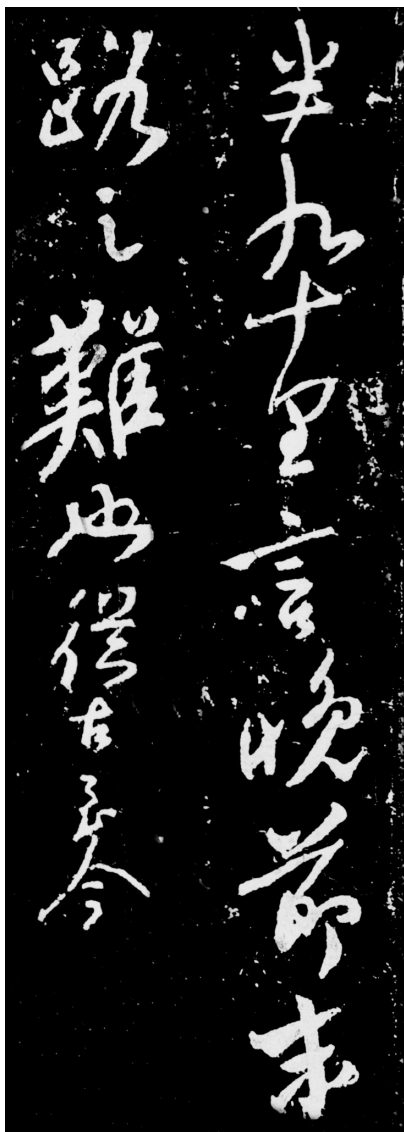
条幅随意部として

『人の華山に万う天ミ ゆふつ可た かへらんとし介る尔』
と、半切二行の臨書とする。落款は二行目に「〇〇臨」と、
全体の調和を考えて入れる。

※随意部参考
(半紙・条幅)
としてもご活
用下さい。抜
粋可。
随意部半紙
は無料。随意
部条幅は一枚
目無料、二枚
目から五四〇
円。

研究部課題 (七月二十二日締切)

(課題)



(出典) 『争坐位文稿』顔真卿

半九十里。言晚節末路之難也。／從古至今。

九十里を半ばにすとは、晩節末路の難きを言うなり。
古より今に至るまで、

▽注意

- (1) 半切タテに臨書する。
- (2) 二行書き・字詰め自由。
- (3) 落款は「臥竜臨」と書き入れること。雅印は無用。(出品者の本名又は雅号を書き入れた作品は不可)

▽出品要項

- (1) 資格⇨推薦、準推薦、推薦格
合格者(漢字・随意・かなの
いずれかで推薦格以上であ
ればよい。また同人、準同人も
歓迎)
- (2) 締切⇨七月二十二日必着
- (3) 発表⇨書廷九月号誌上
- (4) 出品料⇨九二〇円同封
- (5) 出品方法
ア、出品は一人一点とする。
イ、私製の出品票(縦10cm×
横5cm)を作品の左下に貼
付する。

一字書 (七月二十二日締切)

課題

磨

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四三〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣
の空欄に一字と記入 段級は無記入

A

高橋香樹会長書

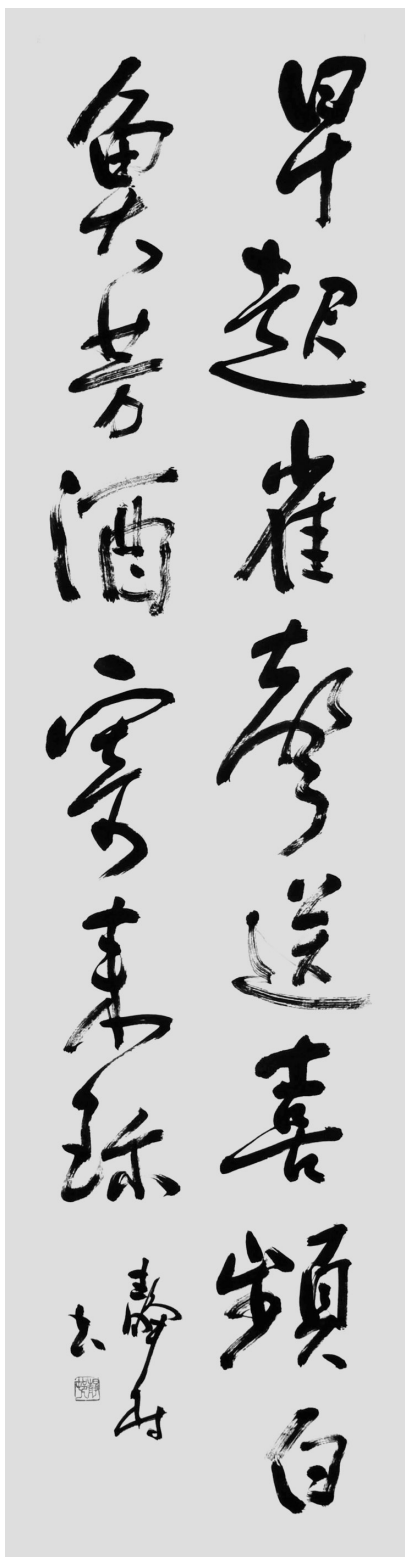
早起雀聲送喜頻 白魚芳酒寄來珍(徐々)
早起雀声喜を送ること頻(しきり)に、白魚芳酒寄せ来りて珍なり。



B

鈴木静村先生書

今月は行書の単体作です。単調にならぬように、行の出入りと流れを意識した作とした。随所で渴筆にしているが、墨がなくなつての表出では荒れた線になり、含墨されている時の渴筆はきめ細くなる。渴筆をよく見ていただくとわかると思うが、転折で筆を返し、よく突いて運筆すると渴筆となる。



単体が主。ただ気脈のつながりを。起 「走によう」によって字幅。声 「耳」はかな「う」が覚えやすい。喜 墨継ぎ。頻 行書。書体多い字。魚 四点を「大」に。寄 墨継ぎ。珍 「珍」古典には楷・行書もこの形が多い。

訳：朝早く雀の声がしきりに吉報を送ってくる。果たして珍しい白魚と芳酒とを頂戴した。

予告 (八月二十二日締切)

游人五陵去

寶劍直千金

分手脱相贈

平生一片心(孟浩然)

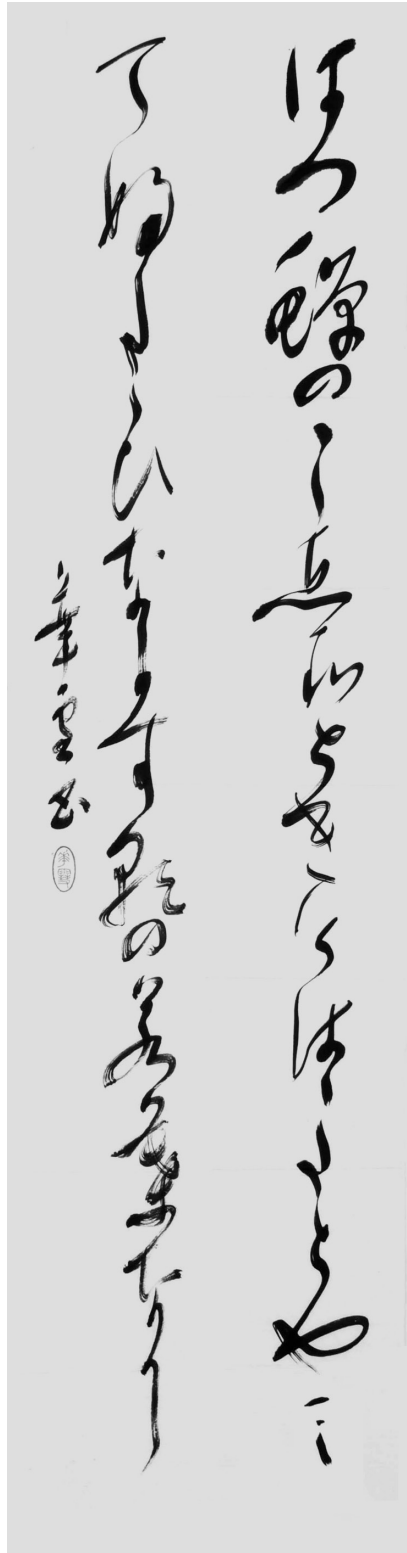
◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

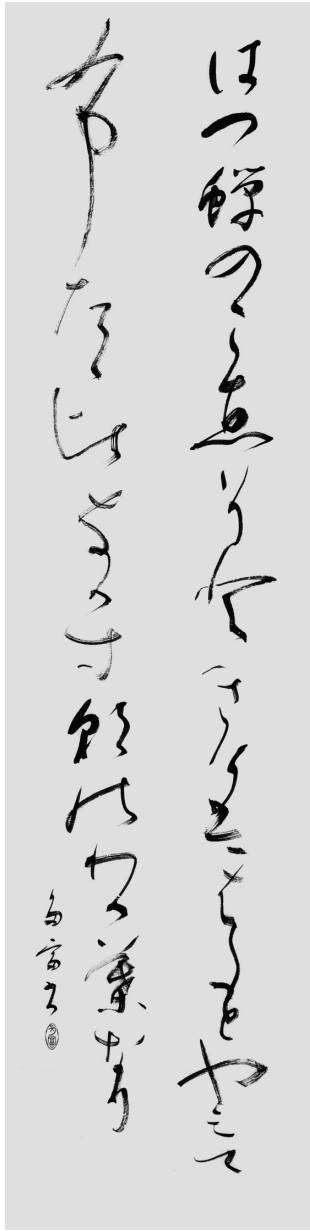
はつ蟬の声ぞと聞けばはたと止みて再び鳴かず朝の若葉なり(土岐善麿)



B

森多富先生書

はつ蟬のこ恵曾登き介盤者多とや三て布た、比奈可寸朝能わ可葉な利



学び方

今月の華雪先生の作品は、滑らかな連綿が多用され流麗な印象を受けます。かな作品の中での「連綿」は、運筆のコントロールが重要です。コントロールといっても作為的に見えてはなりません。いかに自然に、そして必然にできなくてはならないと思います。作品制作においては、先ず選んだ題材と向き合うことから始まり、道具(筆・墨・紙)を選びを経て、実際に「書く」段階へと進む訳です。そして、墨色の変化・運筆の緩急・布置構成等々、色々な角度から取り組み、練り上げて仕上げる総合芸術だと思えます。

B作品は、二行書きで自然な流れを目指し、筆の開閉を意識し、二行目はじめの渴筆が山場となるよう構成しました。

土岐善麿 歌人・国語学者。石川啄木とも親交を結び、戦後も歌作に励み、上代文学・杜甫の研究・新作能の作者としても活躍されました。華雪先生の隣にお住いで、縁のある方だったとのことです。

短歌の叙情や韻律の改新への意欲は生涯に及び、歌集は四十冊近い。余談ですが、東海道五十三次にちなんで「駅伝」と名付けたのも土岐氏です。

予告(八月二十二日締切)

ひぐらしのなく山さとの夕暮は風よりほかに訪ふ人もなし(古今和歌集)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

条幅部 随意参考

星野煌雪先生書

詩無定律君應將 醉有真鄉我可侯（蘇東坡）
 詩に定律無し君応に將たるべし、酔うに真郷有り我侯たる可し。

詩無定律君應將
 醉有真鄉我可侯

星野煌雪

訳：詩には一定の軍律がないから君は大将なるべく。酔えば面白い国がある我はその大名となろう。

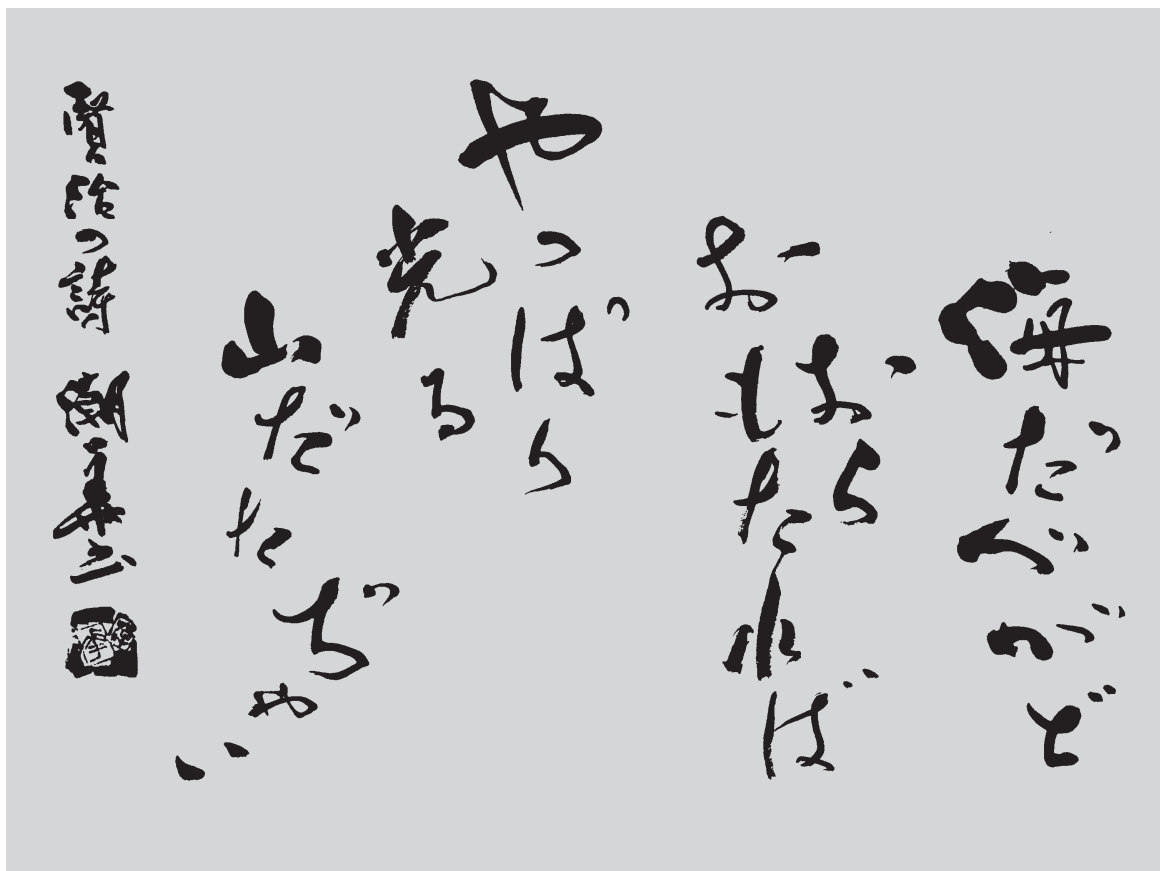
福田玉翔先生書

人しれずわがしめし野の撫子は花さきぬべき時ぞきにける（後撰和歌集 読人しらず）
 人しれずわがしめし免志野の撫子八花佐支ぬ遍き時所幾耳介る

人しれずわがしめし野の撫子は花さきぬべき時ぞきにける
 人しれずわがしめし免志野の撫子八花佐支ぬ遍き時所幾耳介る

玉翔

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）



水貝 潮華 先生 書

海だべがど おら おもたれば
やっぱり光る山だたぢゃい

宮沢賢治

今月の課題は横物作品です。書き始めは紙の上から三分の一位の位置からスタートし山型に、「やっぱり」が頂点になるように構成してみました。

書き出しはゆったりと、そして徐々に盛り上げ、山場は「やっぱり光る」とし、最後の行は静かに収めるように表現してみました。

この形を基にすると、条幅の横物作品の制作にも応用できます。

漢字かな交じりの書の良さは、情感が素直に見る側に伝わることだと思えます。それには、文字を並べるだけでなく、山場を作り情感がストレートに伝わるような書きぶりが必要です。

宮沢賢治 (一八九六〜一九三三)

詩人、童話作家。岩手県花巻町生まれ。

農学校教諭、稲作指導、万物との交流から壮大なファンタジーの世界を描く。詩集「春と修羅」、童話「銀河鉄道の夜」、「風の又三郎」他。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

①漢か ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



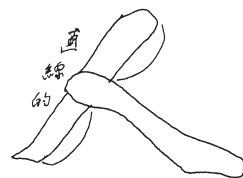
平岡華雪先生書

人生意に^{かな}適うを貴ぶ(張起岩)

訳…人生は思いのままに過ごすのが一番いい。

〈深みの線〉

シンニヨウは初めから、終りまで立体的な線で、丸太が転がっているように見えたら、深みのあるいい線だと思ってい。華雪先生の線の特長。

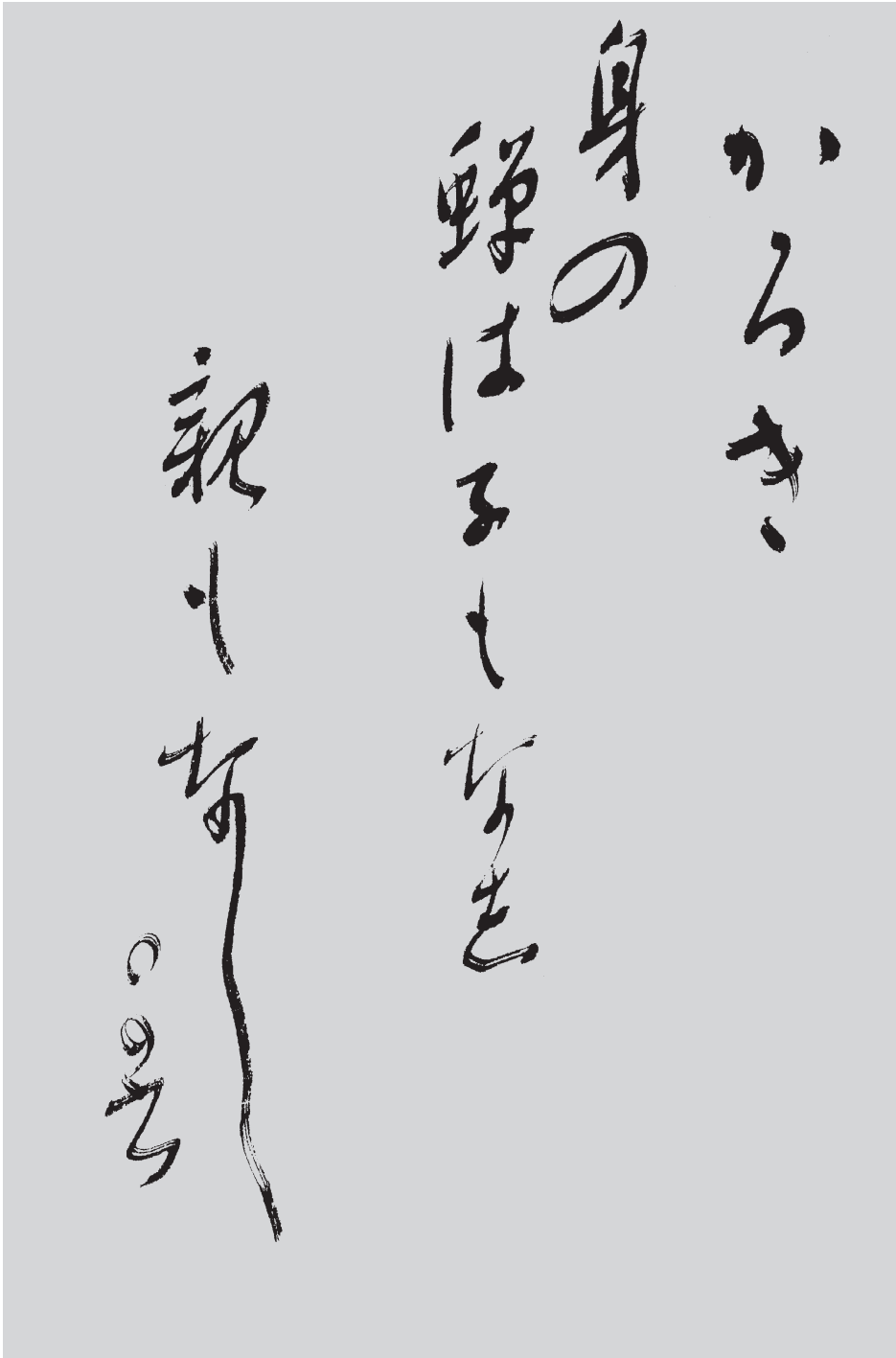


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

かろき身の蟬は子もなし親もなし(猿雖)
かろき身の蟬は子もなし志親もなし



へ「かろき」を基調に

三行間の余白を活かしたい。特に、左群(落款を含め)は右群との照応に留意。墨継ぎしたあとの筆調。右群は「放ち書き」が多い。切れ切れにならぬよう筆脈が大切。行頭の三漢字は硬くなり易い、軽快に。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

高橋紫芳先生書

輕燕受風斜（杜甫）
輕燕は風を受けて斜めなり

輕燕受風斜
輕燕受風斜
輕燕受風斜

紫芳書



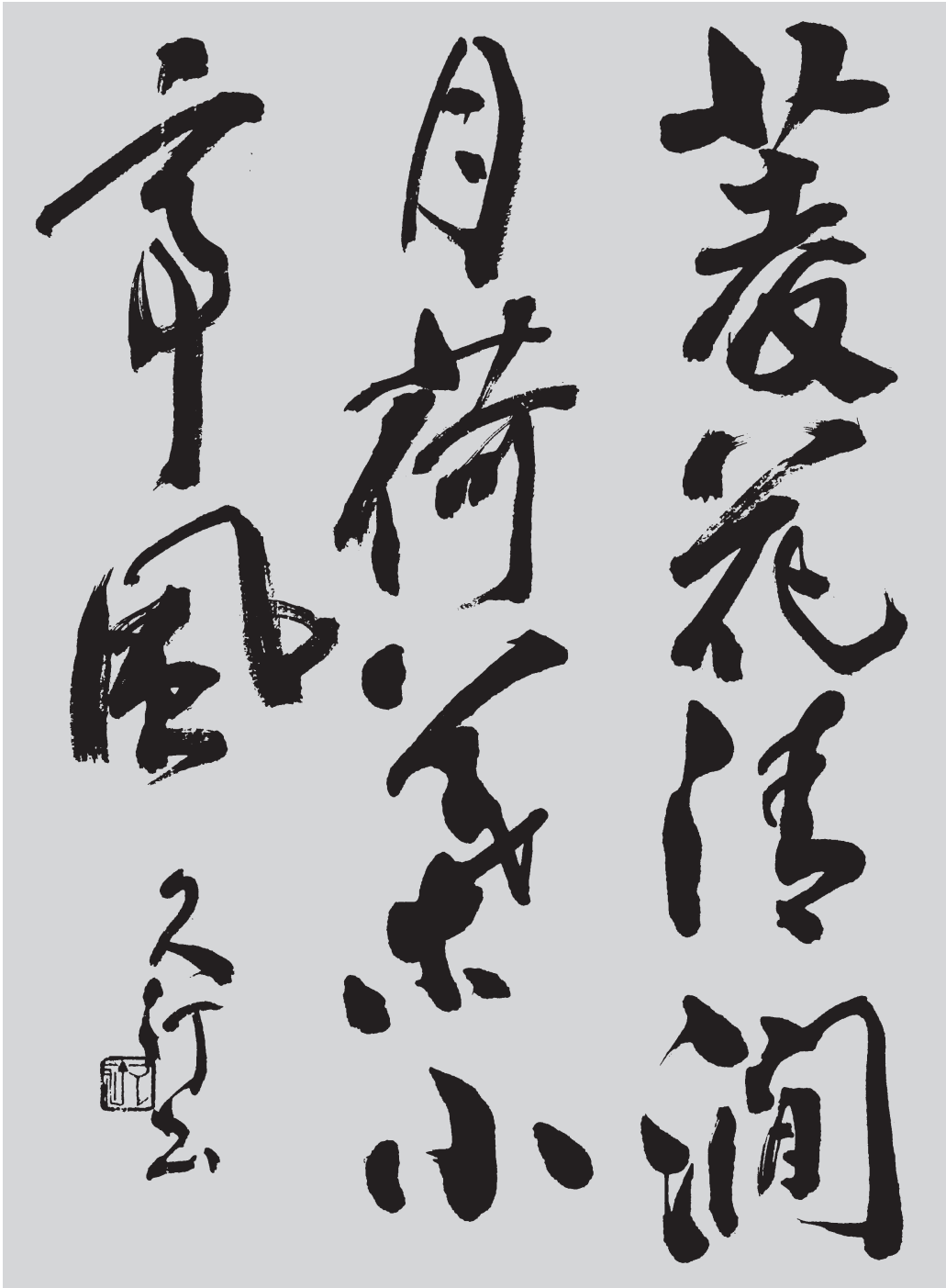
訳：軽やかなつばめは、風を受けつつ斜めに飛ぶ。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

随 意 部 参 考

笹崎久汀先生書

菱花清澗月。荷葉小亭風。(胡大鍾)
菱花清澗の月、荷葉小亭の風。



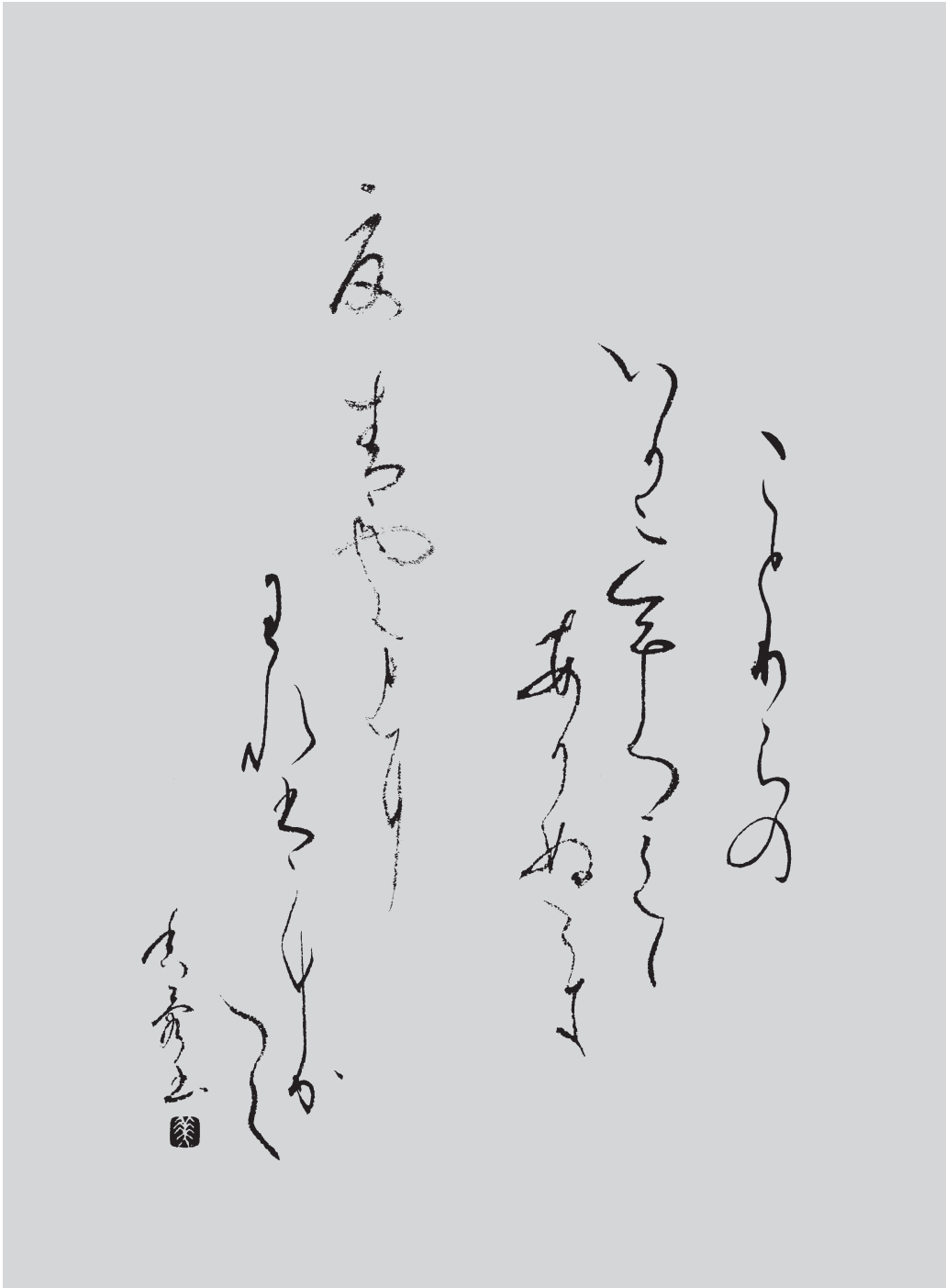
訳：菱の花は谷川の月で知られ、はずの葉が小さい亭前の池に吹く風にゆれる。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

川上香蓉先生書

小鳥らのいかに睦みてありぬべき夏青山に我はちかづく（斎藤茂吉）
こと利らのい可二牟つ三てありぬ部支夏青や万耳王れ者千かつ久



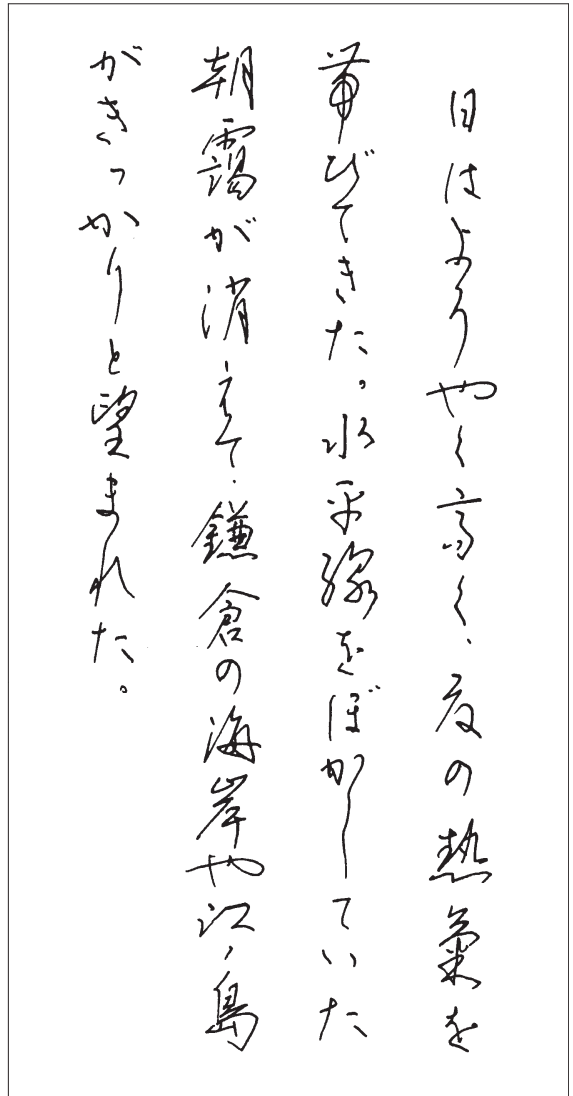
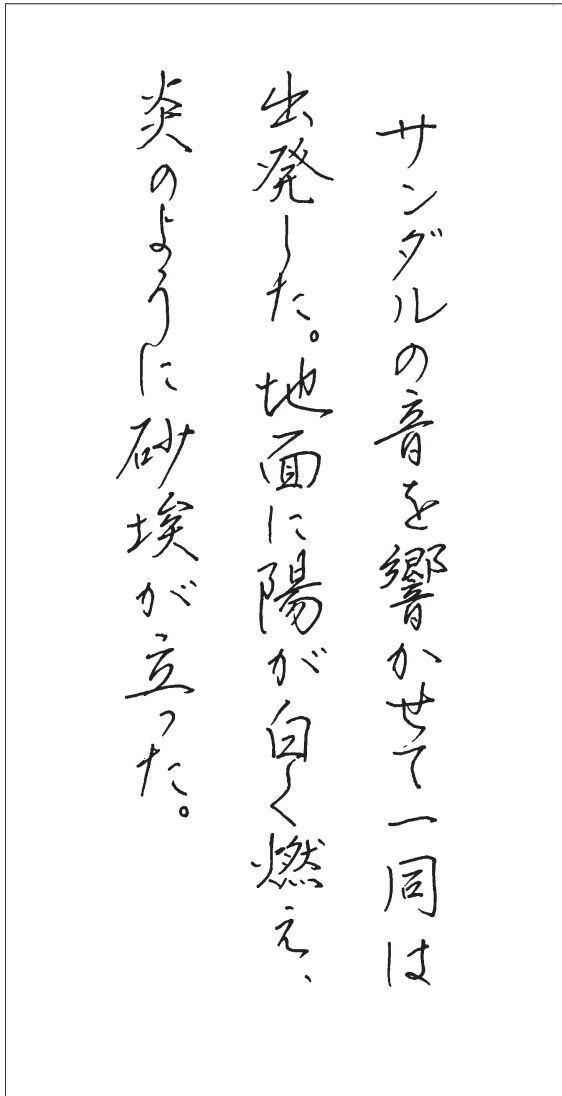
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

赤木典子先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



課題1 (初段階以上)

日はようやく高く、夏の熱気を帯びてきた。水平線をぼかしていた朝靄あさぎりが消えて、鎌倉の海岸や江ノ島がさっかりと望まれた。

「永遠の都―夏の海辺」 加賀乙彦

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題2 (初段階以下)

サンダルの音を響かせて一同は出発した。地面に陽が白く燃え、炎のように砂埃すなごが立った。

「永遠の都―夏の海辺」 加賀乙彦